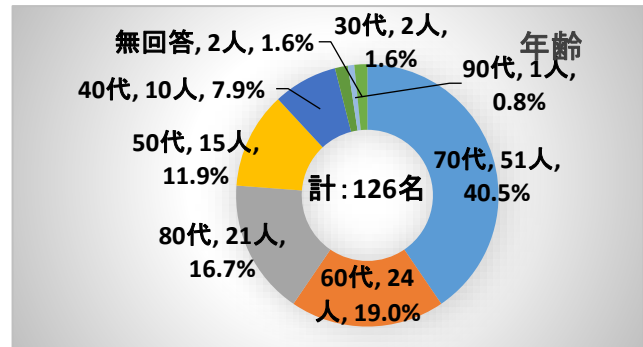
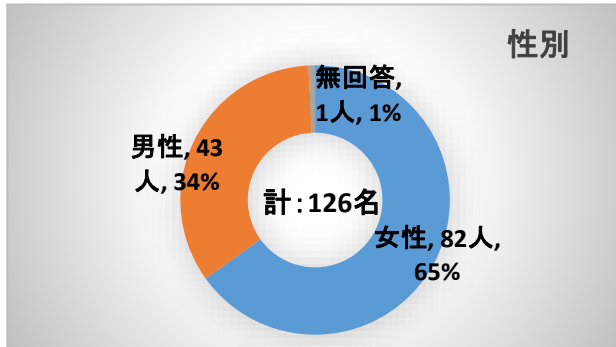


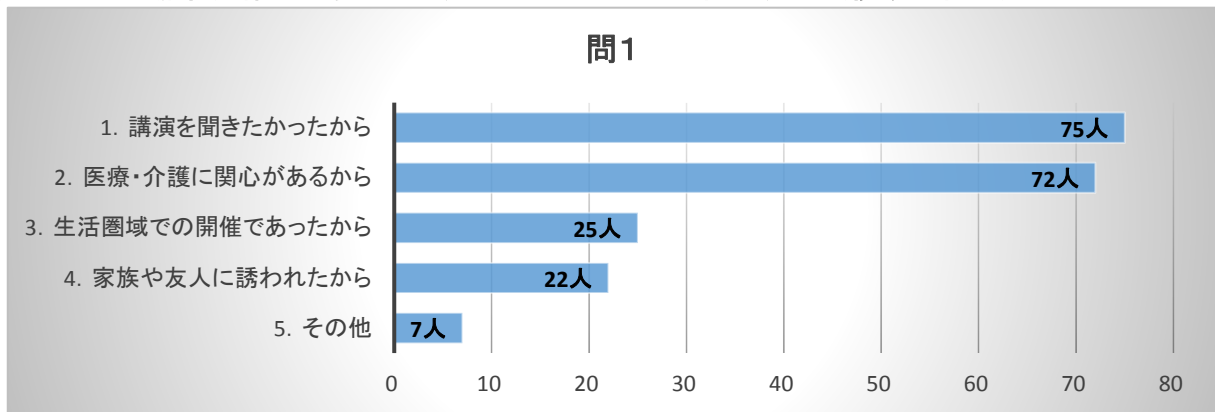
令和元年度「在宅医療介護啓発講座」アンケート集計結果 全6会場合計(アンケート回収数126)

基本情報 性別・年齢



●本日の講座に関して●

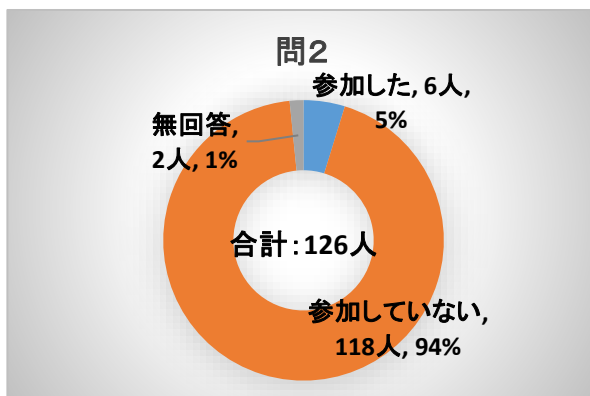
問1 在宅医療啓発講座に参加しようと思ったきっかけは何ですか。(複数回答可)



問1「その他」記述内容

現状の体制把握ができていないから
現在在宅医療
どういう形であるのか知りたい。将来の自分のことについても考えた。
自宅にて母を介護中で参考の為に
妻に誘われて
兄をつれてきたが、3年間とりくんでいるが家族だれも現実味がない。話し合おうとしない
入院中の夫の今後の参考のため。

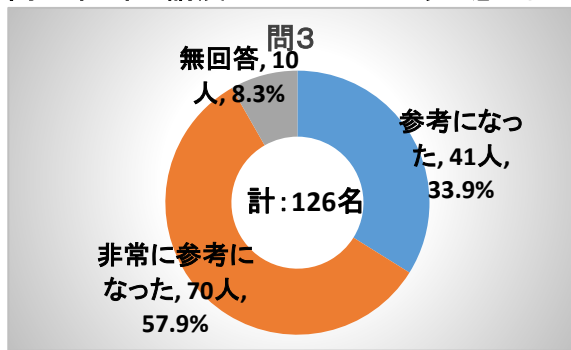
問2 昨年度(平成30年度)の在宅医療啓発講座に参加されましたか？



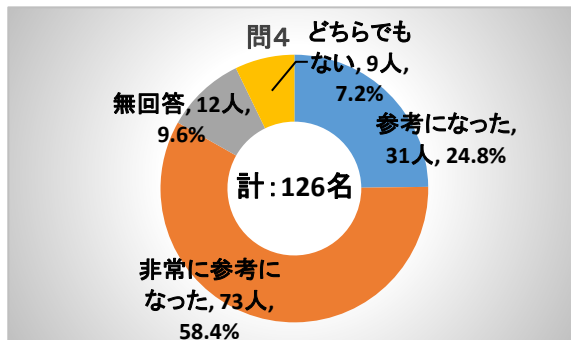
問2-1 「参加した」を選んだ方にお尋ねします。
どちらの会場に参加されましたか？

谷田部会場	3
筑波会場	0

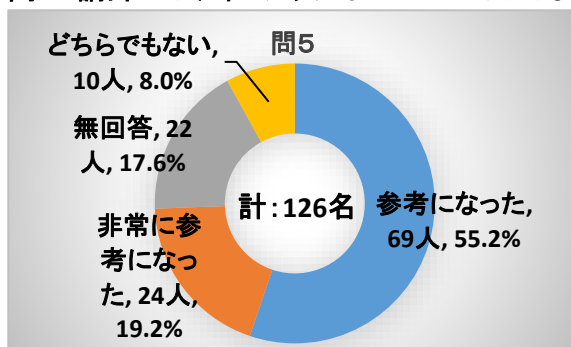
問3 医師の講演についてどのように感じましたか。



問4 ケアマネージャーの講演についてどのように感じましたか。



問5 講師とのディスカッションについてどのように感じましたか。



問6 意見・感想

講師の先生(医師)の話し時間が短いような気がした。1時間位が適当。実際に在宅看護を経験された方(一般家庭の方)の体験談の話もできれば聞きたい。
大変参考になりました。ありがとうございました。
自分のことでも、なかなか想像できない。講座を参考にして自分の考えをまとめていきたいと思う。
介護をしている家族が、精神的に疲れが見えているが、それをどう助ければ良いのかわからない。これを相談する場所(機関)があれば教えてほしい。
講師の方が一生懸命しゃべっている間、後ろですっと私語をしている男性がいらっしゃいましたが、スタッフが誰一人として注意しなかったことが本当に残念です。じっくり聞きたいと思っているので注意してほしいです。
総じて時間が足りないように感じた。
要介護者のための講座が続いている。24時間対応している介護者に対する支援の講座を開いてほしい。
話がスムーズで聞きやすかった。質問に適切に答えておられ、理解が深まった。
地域のいろいろな知識を持っておられる事を感じました。

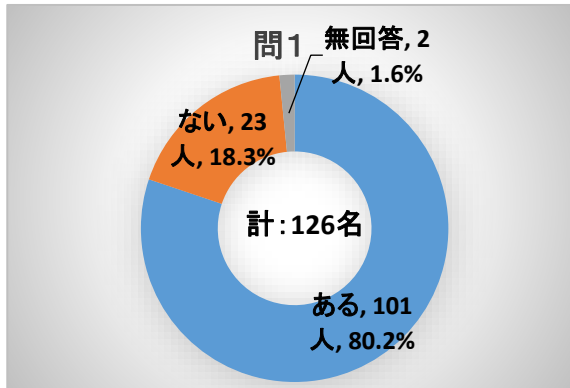
色々知識を持つことで、最終ステージをどう選択していけばよいか考えることができる。なるべくなら、自宅で過ごせる方法を考えていければよいと思う。
とってもわかりやすい話し合いでした。誰にもむかえる道なので。
もう少し現状の様子などの具体的なお話も聞きたかった。
・日曜日の午前中ではなく、土曜日の午前中なら週末遊びに行きたい家族が参加しやすいかもしれません。・訪問診療をしているクリニックが年間何名をお看取りしているかのデータはありますか？それをホームページで実績として出せますか？
地域で相談されることがあるので、参考になりました。
かみさんインフルで欠席したので、大穂講座2/9に再参加したい。資料をよく見直したい。耳新しい内容の講座であった。ハートページ冊子は初見でした。
これまでぼうっとしていた内容が具体的な説明を頂き少し分かってきた。困った折どこに連絡するか分かった。
大変わかりやすく説明を聞きました。ありがとうございました。
前のボードが見えなかった。
わかり易くよかったですと思います。(スライドと資料)先生がお寒いのに立ち通しが気になった。
自分も間近お世話になるかも。出来ればまわりに手をかりない様なことをいってます。講座は参考になりました。
今迄つくば市の在宅医療の情報が少なかったので大変参考になりました。
日頃から知りたいと思っていた情報を(特に在宅医療)について丁寧に説明いただいたことに感謝します。
市がどのような形で関わっているのか今1つわからなかった。当方ではクリニック、ケアマネージャーとの個人的な関わりのもので自宅介護を始めた。介護度の認定は市で行っていると思うが。
出前講座を希望
スライドの画面が明るいために、絵が見にくかった。光が画面にあたらないような工夫が必要ではないか？
活発な意見交換がありとても良いと思った。「会場に来るのにとっても迷ってしまった」とおっしゃっている方があった。
レジュメがほしかった。(スクリーンの字が明るくて見にくかった)
ACPIについて深く掘り下げた講演を行って頂けたらと思います。
今必要としていないから、それでよいとの思いを見直し、将来に渡って予想・予測する力を養い、十分な学びをする必要があることを認識させられた。又、自分だけでなく、家族・親族や周辺住民にまで広げていくことが大切だと思った。高齢の方の心配事なども聞けて、これから注意すべきことなども知ることができ、参考になりました。
弟が、母(88歳)と同居し、母の介護をサポートしている最近、弟自身の課題もあり、介護に疲れていたり、いらつきやすくなっている。相談を受けても本当に役立つ助言ができない。⇒介護者のケア、相談窓口、また、介護者をサポートする立場の人への教育の場があれば、御教示下さい。
歳が重なり独り住まいなので少し気になってきていました。ハートページ冊子を地区の老人会で頂いていたのですが、今回の様に説明がなかったので(私のものぐさですが)そのままにしていました。本日説明して下さり自分の関心がこれであったと解り、読み直し、心に止め、これからの自分の助けになっていけると自覚出来ました。
大変参考になりました。成島先生の具体的な説明が良かったです。
マイクでの生声はよく聞こえたが、PPTでのナレーションの音質が悪く、ほとんど聞き取れなかった。質疑応答で、ある程度わかったが、モヤモヤとした疑問が残っている。
「在宅医療」の不安が少なくなりました。居宅サービスを受ける種類の料金が気になります。質問に対する先生の丁寧なお答えがとても感じが良かったです。コレステロールなど高いのですが、「かかりつけ医」というのがなく(病院にかかっていない)、突然倒れた時など心配です。
年1回ぐらい、計画をお願いします。
専門の先生方の話で、自分の意思で決めることに家族との話し合い又は伝えたいと思います。今日はありがとうございました。
市民の関心度の低さが気になる。
夫や私の人生の最終を考えるキッカケになりました。とても参考になりました。
ACPの理解が一步進んだようだ。成島医師の説明は具体的に理解できた。熱意が伺えた。今後は是非ご指導戴きたい。
地域包括支援センターのPRを年に3~4回各区に配布して下さい。
少しの経験からある程度の知識はありましたが、改めてお話や資料を見て、たくさんの受けられるサービスがある事を知り、私達をもっと学習すべきと思いました。行政の方々に感謝を致します。
飯田先生と岡野さんの話が非常に分かり易く、大変参考になりました。付属の資料も非常に分かり易く、家に置いていこうと思います。定期的にこういった講演会があれば参加したいと思います。
実際に介護中なので、基本的な知識の確認にとどまりました。
もっと多くの人に講座に参加してもらおう必要があると思った。

大変勉強になりました。

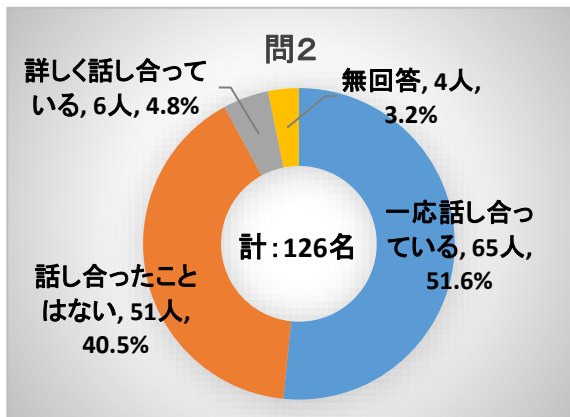
在宅について参考にしたいと思います。

●人生の最終段階における医療・療養について●

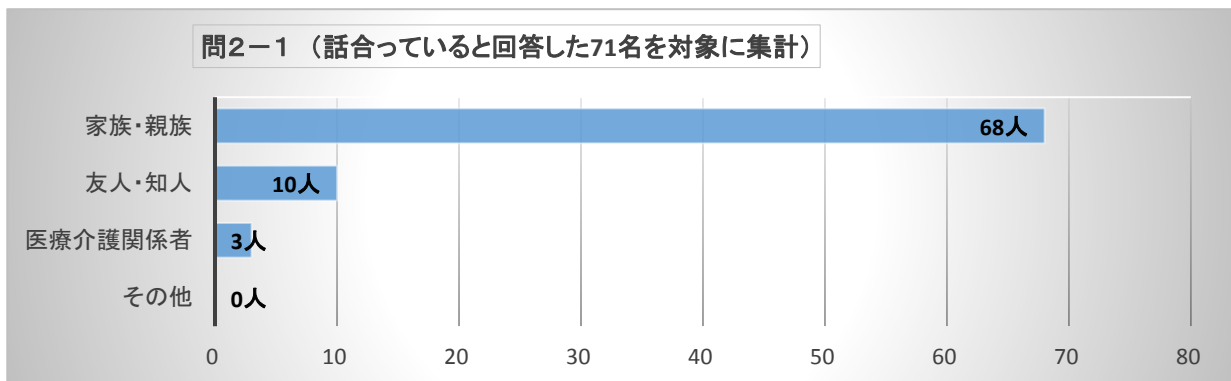
問1 あなたは人生の最終段階における医療・療養についてこれまで考えたことがありますか。



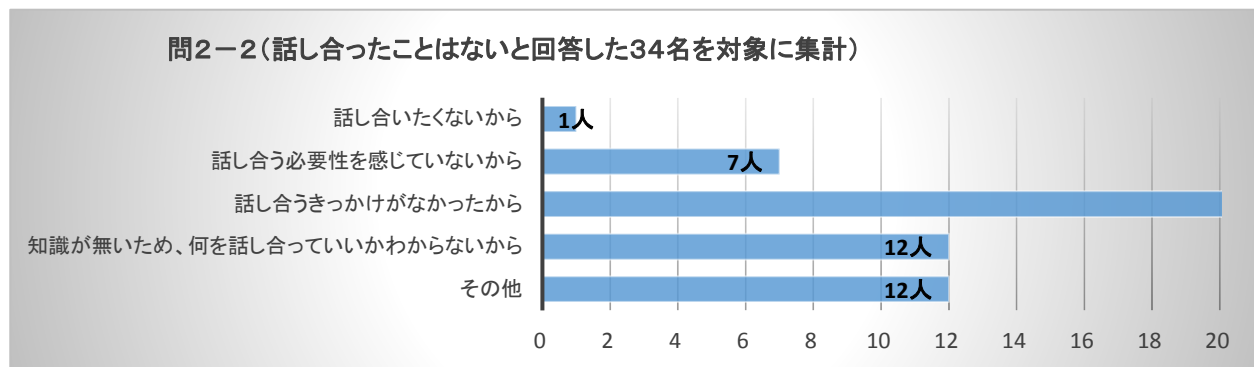
問2 あなたの人生の最終段階に受けたい医療・療養や受けたくない医療・療養について、御家族等や医療・介護関係者とどのくらい話し合ったことがありますか。



問2-1 問2で「詳しく話し合っている」「一応話し合っている」と回答の方にお尋ねします。どなたと話し合いましたか。(複数回答可)



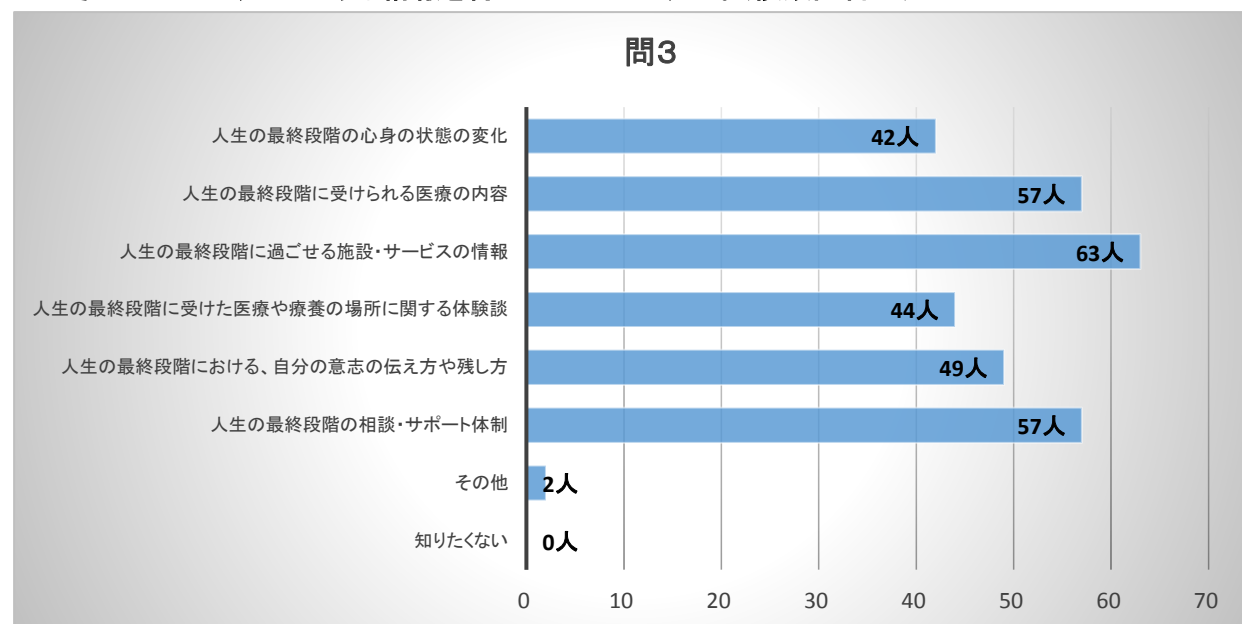
問2-2 問2で「話し合ったことはない」と回答の方にお尋ねします。
 これまで話し合ったことはない理由は何ですか。(複数回答可)



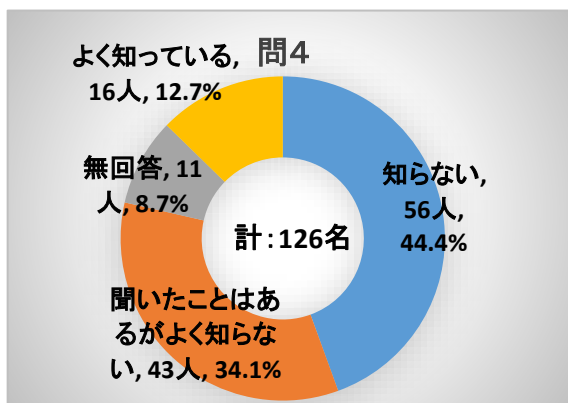
その他意見

どうしたいか、自分の気持ちがあはつきりしていない。
一人暮らしなので
健康その時点に於いて考えると思っていたから。
無関心であった。必要としていなかった。
現在なんとか健康で過ごしている事と年齢が70歳代であること
題材として考えた事がなかった。抽象的な考えであった。
あまり何も考えていなかった為
ゆっくり話し合う時間がない。
文書を作成(希望表明書)
話し合っても理想が現実になるとは限らない。現実に対応するしかない。

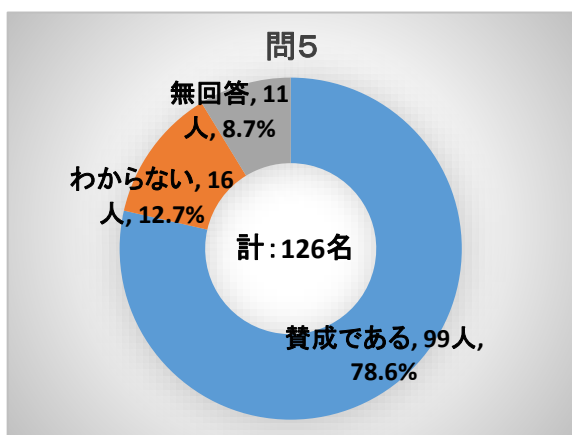
問3 あなたの人生の最終段階の受けたい医療・療養や受けたくない医療・療養を
 考えるために、どのような情報を得たいと思いますか。(複数回答可)



問4 あなたはアドバンス・ケア・プランニング(ACP)について知っていますか。

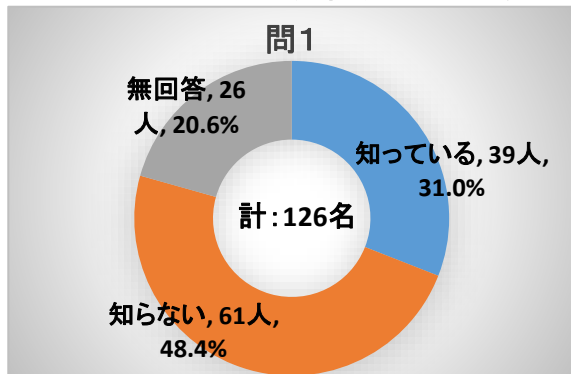


問5 人生の最終段階の医療・療養について、あなたの意思に沿った医療・療養を受けるためには、御家族や医療関係者等とあらかじめ話し合い、また繰り返し話し合うこと(アドバンス・ケア・プランニング(ACP))が重要と言われていています。このような話し合いを進めることについて、あなたはどのように思いますか。



●救急について●

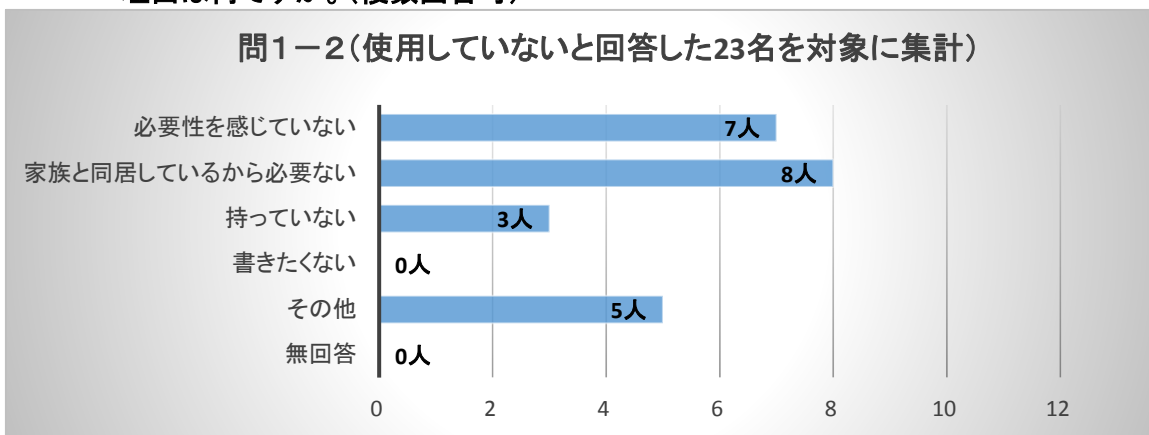
問1 「つくば市救急医療情報便ツクツク見守りたい」をご存知ですか。



問1-1 問1で「知っている」と回答の方にお尋ねします。「つくば市救急医療情報便ツクツク見守りたい」を使用していますか。

使用している	15
使用していない	23

問1-2 問1-1で「使用していない」と回答の方にお尋ねします。使用に至らなかった理由は何ですか。(複数回答可)

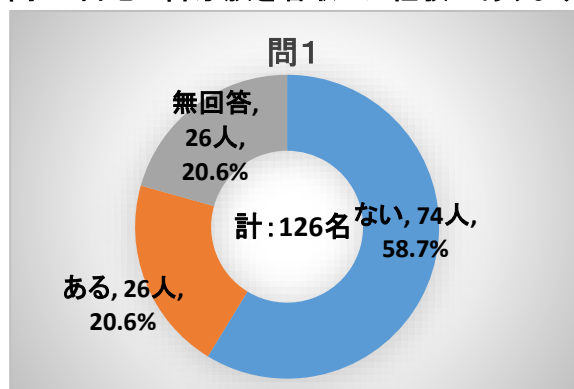


その他意見

必要になった時使用したい。
まだ自分で分かるからよいかと思っただが、そろそろ必要と思い実施しようと思う。
開始するタイミングが難しい
利用する気が無い。救急車は呼ばない。

●看取りについて●

問1 自宅で御家族を看取った経験がありますか。



問1-1 問1で「ある」と回答の方にお尋ねします。自宅で御家族を看取った際に困ったことや、問題になったことがありましたらご自由にお書きください。

子供の時だったためわからない。
30年前なので相談する所がなく、大変でした。
5人姉弟の長男。父93歳前立腺、母87歳XX認知5、徘徊など。20年前ではXXとか今のような介護職はなく、手さぐりで苦勞。
先生の往診、その都度費用支払い。お話を聞く。いつも誰かが自宅に居て先生が見えたらお茶の準備、手洗いの水等の準備、その他お世話になるので、気づかいが多かった。母も居たが、父の面倒はどうしても嫁の立場、又は嫁いだ兄弟の方々の衣食等、気づかいが多かった。
生前に終末や希望を聞いていなかった。
50年程前に祖母が自宅で亡くなった時のことなので今とは比較できないと思いますが、寝たきりの祖母を介護する母の苦勞(精神的にも身体的にも)を思い出します。
自宅療養介護を利用していた事もあり、日時変化を感じると事ができ何ら問題はなかった。

15年以上前ですが父を自宅で看取りましたが、点滴治療受けてましたので最終段階に〇〇良く伝えて下さった医師に感謝と心配すること(困ったこと)なく父を看取れました。本人のみならず家族が安心して送ることができました。

在宅医療の医師と契約する3日前に母は亡くなったので、警察の検死が必要となった。もっと早くから訪問クリニックをお願いすればよかったと思います。

実家の祖母が92歳で亡くなりました。かかりつけ医師がきてくれて静かに亡くなりました。昼間だったので良かったと思います。

長期間に渡る介護の為家族に(特に女性)負担がかかってしまう。現在のような介護体制が出来ていなかった事が原因だと思います。手続きが多く、認定まで時間がかかる。

延命は望まない